



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月12日

上場会社名 神田通信機株式会社
 コード番号 1992 URL <http://www.kandt.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神部 雅人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 田辺 正行

TEL 03-3252-7731

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日

2021年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	6,545	10.1	497	112.0	568	88.9	339	73.5
2020年3月期	5,944	4.5	234	14.5	300	8.1	195	32.8

(注) 包括利益 2021年3月期 507百万円 (309.1%) 2020年3月期 124百万円 (52.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	140.55		8.0	7.7	7.6
2020年3月期	81.31		4.9	4.5	3.9

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	8,132	4,476	55.0	1,850.03
2020年3月期	6,688	4,002	59.8	1,665.12

(参考) 自己資本 2021年3月期 4,476百万円 2020年3月期 4,002百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,384	49	104	2,329
2020年3月期	213	36	96	999

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		20.00	20.00	48	24.6	1.2
2021年3月期		0.00		35.00	35.00	84	24.9	2.0
2022年3月期(予想)		0.00		20.00	20.00		37.2	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,700		80		70		90		37.19
通期	6,000		200		220		130		53.72

(注)2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数

2021年3月期	2,623,227 株	2020年3月期	2,623,227 株
2021年3月期	203,493 株	2020年3月期	219,370 株
2021年3月期	2,413,389 株	2020年3月期	2,403,966 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後、様々な要因によって予測値と異なる結果となる可能性があります。詳細は[添付資料]3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、緊急事態宣言の発出により、社会・経済活動が急速に停滞しました。緊急事態宣言解除後、経済活動は徐々に再開されていましたが、一部地域では緊急事態宣言が再発出されるなど収束の兆候が見られず、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、新型コロナウイルスの影響による、材料の確保や建築工事の延期等が不透明でありましたので、業績へのリスクを見込み、さらに当社の投資および経費の削減および先送り等の施策を踏まえて業績予測を立てて事業を展開してまいりました。しかしながら、幸いにして当初予想に際して懸念した事項は少なく、概ね通年と同じ水準での施工が見通せる状況から、昨年11月には予想を修正いたしました。

売上高につきましては、上記に加えてコロナ対応と推測される工事、G I G Aスクールや景気浮揚策に伴う工事、増収企業等の設備投資工事増加等の要因から、計画を上回る結果となりました。利益面につきましては、首都圏でのネットワークインフラ構築工事の工事拠点の集約化、および売上が通年では9月ならびに3月に集中する傾向がありましたが、期末集中せず分散化されたことによる稼働効率の向上、外注費の削減等により予想を上回りました。

この結果、当連結会計年度における売上高は65億45百万円(前年同期比10.1%増)となり、営業利益は4億97百万円(前年同期比112.0%増)、経常利益は5億68百万円(前年同期比88.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は3億39百万円(前年同期比73.5%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 情報通信事業

ネットワークインフラの設計・提案・構築、「働き方改革」をキーワードとした、お客様の問題解決につながるソリューション提案に加えて、コロナ対応と推測される工事、G I G Aスクールや景気浮揚策に伴う工事、増収企業等の設備投資工事等が発生しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は59億65百万円(前年同期比15.3%増)、営業利益は4億32百万円(前年同期比179.0%増)となりました。

② 照明制御事業

DAL I制御による照明制御システムの設計・販売・施工を軸として、大型テナントビルや大手IT企業、ホテルを中心に積極的にビジネスを展開いたしました。新築案件中心の営業スタイルから脱却できず、新型コロナウイルスの影響による非対面営業が機能しなかったことで、短納期案件の受注が不足しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は5億16百万円(前年同期比26.9%減)となり、営業利益は27百万円(前年同期比35.8%減)となりました。

③ 不動産賃貸事業

不動産の賃貸を事業としており、売上高は62百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益は37百万円(前年同期比1.2%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は81億32百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億43百万円増加しました。これは主に、現金・預金が13億29百万円増加し、受取手形・完成工事未収入金等が4億50百万円減少したこと等によります。

当連結会計年度末の負債は36億56百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億69百万円増加しました。これは主に、支払手形・工事未払金等が5億65百万円、リース債務が1億50百万円増加したこと等によります。

当連結会計年度末の純資産は44億76百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億73百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が2億91百万円、その他有価証券評価差額金が1億69百万円増加したこと等によります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は23億29百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は13億84百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益5億27百万円、売上債権の減少4億56百万円、仕入債務の増加5億65百万円等の増加要因があった一方、たな卸資産の増加1億83百万円等の減少要因があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は49百万円となりました。これは主にリース投資資産の回収による収入63百万円等の増加要因があった一方、投資有価証券の取得による支出4百万円、差入保証金の差入による支出6百万円等の減少要因があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億4百万円となりました。これは主にリース債務の返済による支出66百万円によるものです。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響や世界市場での半導体（関連部品含）不足による交換機の生産遅れによる納期への影響により、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような環境において、当社は、情報通信事業ではMGW（マルチゲートウェイ）を積極的に推進し、ネットワークに繋がる全ての機器を制御するエンジニアリング会社を目指します。また、中長期的には、ローカル5Gのインフラ構築を担えるよう、いち早く技術の習得を行います。照明制御事業では演出系の調光をさらに伸ばしていきます。

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの影響は限定的であります。半導体（関連部品含）不足による交換機の生産遅れによる納期への影響を織り込んだ結果、売上高は60億00百万円を予定しております。また、利益につきましては、営業利益2億00百万円、経常利益2億20百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1億30百万円を予定しております。

なお、新型コロナウイルス感染症や半導体不足の先行きは不透明であることから、今後、様々な要因の変化が生じた場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。業績見通しの修正の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、また海外からの資金調達の実効性が乏しいことから、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後につきましては、特に、当社と同じ、東証ジャスダック市場に上場している他社の適用動向等を踏まえた上で、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,361,651	2,690,878
受取手形・完成工事未収入金等	1,967,932	1,517,185
未成工事支出金	129,249	275,812
仕掛品	83,112	97,704
その他のたな卸資産	17,107	39,921
その他	91,086	146,470
貸倒引当金	△1,835	△1,043
流動資産合計	3,648,303	4,766,928
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	319,932	305,801
土地	1,422,508	1,381,673
建設仮勘定	6,918	—
その他（純額）	18,354	16,338
有形固定資産合計	1,767,714	1,703,813
無形固定資産	56,991	46,169
投資その他の資産		
投資有価証券	945,828	1,180,225
繰延税金資産	10,183	9,328
その他	267,300	433,422
貸倒引当金	△7,449	△7,136
投資その他の資産合計	1,215,863	1,615,840
固定資産合計	3,040,570	3,365,823
資産合計	6,688,873	8,132,752

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	854,635	1,420,013
短期借入金	190,000	200,000
未払法人税等	94,114	157,814
賞与引当金	157,350	163,020
役員賞与引当金	18,777	25,475
受注工事損失引当金	—	3,978
その他	347,736	459,252
流動負債合計	1,662,615	2,429,554
固定負債		
リース債務	120,809	271,718
繰延税金負債	11,507	61,257
退職給付に係る負債	833,943	830,261
役員退職慰労引当金	35,722	41,804
その他	21,575	21,575
固定負債合計	1,023,557	1,226,617
負債合計	2,686,172	3,656,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,310,825	1,310,825
資本剰余金	1,087,084	1,091,727
利益剰余金	1,506,529	1,797,665
自己株式	△131,559	△122,120
株主資本合計	3,772,879	4,078,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	229,453	399,129
退職給付に係る調整累計額	367	△646
その他の包括利益累計額合計	229,821	398,482
純資産合計	4,002,700	4,476,580
負債純資産合計	6,688,873	8,132,752

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	5,944,830	6,545,023
売上原価	4,405,523	4,729,485
売上総利益	1,539,306	1,815,538
販売費及び一般管理費		
役員報酬	117,723	113,164
従業員給料手当	524,900	511,472
賞与引当金繰入額	87,846	95,651
役員賞与引当金繰入額	18,777	25,475
退職給付費用	33,898	35,703
その他	521,622	536,768
販売費及び一般管理費合計	1,304,768	1,318,235
営業利益	234,538	497,303
営業外収益		
受取配当金	22,567	21,289
受取手数料	43,759	43,597
その他	15,873	9,558
営業外収益合計	82,201	74,446
営業外費用		
支払利息	2,565	2,552
関係会社株式評価損	13,000	—
売上割引	157	1,072
その他	314	107
営業外費用合計	16,037	3,732
経常利益	300,702	568,017
特別利益		
投資有価証券売却益	22,938	—
特別利益合計	22,938	—
特別損失		
減損損失	—	40,834
特別損失合計	—	40,834
税金等調整前当期純利益	323,640	527,182
法人税、住民税及び事業税	114,656	198,172
法人税等調整額	13,506	△10,203
法人税等合計	128,163	187,968
当期純利益	195,477	339,213
親会社株主に帰属する当期純利益	195,477	339,213

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	195,477	339,213
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68,580	169,675
退職給付に係る調整額	△2,746	△1,014
その他の包括利益合計	△71,326	168,661
包括利益	124,150	507,874
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	124,150	507,874

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,310,825	1,087,084	1,359,133	△131,369	3,625,673
当期変動額					
剰余金の配当			△48,081		△48,081
親会社株主に帰属する当期純利益			195,477		195,477
自己株式の取得				△189	△189
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計			147,395	△189	147,206
当期末残高	1,310,825	1,087,084	1,506,529	△131,559	3,772,879

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	298,034	3,114	301,148	3,926,821
当期変動額				
剰余金の配当				△48,081
親会社株主に帰属する当期純利益				195,477
自己株式の取得				△189
自己株式の処分				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△68,580	△2,746	△71,326	△71,326
当期変動額合計	△68,580	△2,746	△71,326	75,879
当期末残高	229,453	367	229,821	4,002,700

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,310,825	1,087,084	1,506,529	△131,559	3,772,879
当期変動額					
剰余金の配当			△48,077		△48,077
親会社株主に帰属する当期純利益			339,213		339,213
自己株式の取得				△222	△222
自己株式の処分		4,643		9,661	14,304
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計		4,643	291,136	9,438	305,218
当期末残高	1,310,825	1,091,727	1,797,665	△122,120	4,078,097

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	229,453	367	229,821	4,002,700
当期変動額				
剰余金の配当				△48,077
親会社株主に帰属する当期純利益				339,213
自己株式の取得				△222
自己株式の処分				14,304
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	169,675	△1,014	168,661	168,661
当期変動額合計	169,675	△1,014	168,661	473,879
当期末残高	399,129	△646	398,482	4,476,580

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	323,640	527,182
減価償却費	37,115	39,404
減損損失	—	40,834
株式報酬費用	—	3,479
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,674	△1,105
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,090	5,670
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	947	6,697
受注工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△3,771	3,978
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△50,694	△4,411
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,082	6,082
受取利息及び受取配当金	△24,512	△23,597
支払利息	2,565	2,552
関係会社株式評価損	13,000	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△23,426	—
有形固定資産除却損	—	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△168,112	456,043
たな卸資産の増減額 (△は増加)	11,244	△183,968
仕入債務の増減額 (△は減少)	△181,967	565,377
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△17,050	22,976
その他の資産の増減額 (△は増加)	△2,375	△24,860
その他の負債の増減額 (△は減少)	△30,670	53,590
小計	△108,569	1,495,924
利息及び配当金の受取額	25,711	24,802
利息の支払額	△2,921	△2,580
法人税等の支払額	△127,909	△133,218
営業外収入	—	△332
営業活動によるキャッシュ・フロー	△213,688	1,384,596
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△486,688	△386,688
定期預金の払戻による収入	586,687	386,688
有形固定資産の取得による支出	△31,115	△840
無形固定資産の取得による支出	△51,610	—
投資有価証券の売却による収入	31,316	—
投資有価証券の取得による支出	△104,563	△4,663
リース投資資産の回収による収入	47,997	63,308
差入保証金の差入による支出	△1,023	△6,046
差入保証金の回収による収入	1,262	981
関係会社株式取得による支出	△40,000	—
貸付金の回収による収入	15,841	617
その他の支出	△4,257	△4,257
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,154	49,098
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	10,000
リース債務の返済による支出	△48,974	△66,744
配当金の支払額	△47,527	△47,566
自己株式の取得による支出	△189	△222
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96,692	△104,533
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△346,534	1,329,161
現金及び現金同等物の期首残高	1,346,466	999,940
現金及び現金同等物の期末残高	999,940	2,329,102

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社は、事業の内容により、「情報通信事業」、「照明制御事業」、「不動産賃貸事業」の3つの事業を報告セグメントとしております。

「情報通信事業」はネットワークインフラの設計・提案・構築、自社ブランドパッケージソフトの開発と販売、一般企業・社会福祉法人向け等のシステム開発及びハード、ソフトのサポートサービスを行い、「照明制御事業」は国際標準規格DALI制御の「S I e r」としてのポジションを活かし、社会に適合したソリューションビジネスを行い、「不動産賃貸事業」は所有不動産の賃貸を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であり、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	情報通信事業	照明制御事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,175,288	706,573	62,969	5,944,830
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	5,175,288	706,573	62,969	5,944,830
セグメント利益	155,003	42,393	37,140	234,538
その他の項目				
減価償却費	27,037	1,964	8,114	37,115

(注) 1.セグメント利益の合計は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。また、減価償却費の合計は、連結財務諸表計上額と一致しております。

2.セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となっていないため記載していません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	情報通信事業	照明制御事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,965,749	516,704	62,570	6,545,023
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	5,965,749	516,704	62,570	6,545,023
セグメント利益	432,518	27,215	37,568	497,303
その他の項目				
減価償却費	29,627	2,298	7,514	39,439

(注) 1. セグメント利益の合計は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。また、減価償却費の合計は、連結財務諸表計上額と一致しております。

2. セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となっていないため記載しておりません。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	5,994,830	6,545,023
セグメント間取引消去	—	—
財務諸表の売上高	5,994,830	6,545,023

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,665.12円	1,850.03円
1株当たり当期純利益金額	81.31円	140.55円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	195,477	339,213
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額 (千円)	195,477	339,213
普通株式の期中平均株式数 (千株)	2,403	2,413

(重要な後発事象)

該当事項はありません。